

6	内容項目：2-(6) 主題名：生きていることへの感謝
	B I R T H D A Y
ねらい	誕生日の意味を考え、命を授かり支えられていることに気付くことで、生きていることの喜びを感じ、感謝の心でそれに応えて、より善く生きようとする意欲をもつ。

主題設定の理由

◆指導内容について

子どもたちは誕生日というと、普通、誕生会をして、カードやプレゼントをもらって、ごちそうやケーキを食べて祝ってもら日だと思っている。しかし、誕生日の本質は、産んで育ててくれた親に感謝し、自分の毎日を支えてくれる人たちの温かさのおかげで、またこの一年生きることができたということに気付き、感謝し、これからまた一年それに応えて頑張っていこうと決心することではないだろうか。

人間は助け合い、協力する中で生きている。他の人が自分のことを大切に思ってくれていることに触れ、相手の行為を心の贈り物としてありがたく感じられる心を育みたい。

◆生徒の実態について

中学3年生という時期は、学校の中で最高学年となり、進路の決定を迎え、さまざまなプレッシャーの中で大人になる階段を昇っている。自立心が強まるが、期待する自分と現実とのギャップは、時として、自分を規制するように思える大人への反発として出ることもある。しかし、日々の生活の中で自己を支えてくれている多くの人々の善意にも気付き始めている。その気持ちを直接表現することにはためらいもあるが、素直に言語化することで再確認し、成長させたい時期である。

◆資料について

さだまさしさん作詞（詩）作曲のこの歌は、石巻で作られた。NHKの番組「鶴瓶の家族に乾杯」の主題歌になっている。元々「さだと地域の人々と触れ合う姿をテレビにしたら」という発想で番組化され、友人である笑福亭鶴瓶との二人旅という形で始まったもので、人と人とのつながりがテーマである。

誕生日に届いた手紙を通じて、生きていることへの感謝を感じ、温かい生き方を考えるのによい資料である。

指導上の留意事項

「ありがとう」という言葉が何回も出てくるが、何に対して感謝しているのか、よく考えさせたい。命を授かる縦のつながりと、支え合って生きている横のつながりと、両方に気付き、それに応えて精一杯善く生きる意欲をもたせたい。

評価のポイント

生徒の発言や、ワークシートに書き込んだことなどから、次のことを評価する。

- 授業前と比べて、誕生日の本質を考えようとしているか。
- 今の自分がいろいろな人に支えられていることに改めて気付き、応えようという感謝の心をもったか。
- 生きていることの喜びを感じ、いろいろなことがあっても精一杯生きようという想いをもてたか。

◎心のノート pp.64-67

作者・出典 さだまさし 作

「さだまさしベスト2」

人間を読む 資料分析	筆者はなぜ「生まれてきてよかった」と思ったのか。何に感謝の気持ちを抱きどう応えようとしているのだろうか。
------------	--

資料の流れ	筆者の思い	発問	発問の意図
筆者のところに、何かが届く。(A)	幸せ、相手の心のぬくもりを感じ、相手が元気であることをうれしく思う。 宝物となる思い出が届いた。生きていることの喜びを感じる。	(A)の部分は最初と、真ん中と、最後に出てくるが、最初は何も問わない。	
誕生日を忘れずに送ってくれたのだということがわかる。 (B) (B')	誕生日を憶えてくれていたことがうれしい。 緩やかに年をとっていきたいと思うようになった。 独りきりではないと、勇気が湧いてくる。	誕生日を贈ってくれたのは誰だと思うか？ 筆者は今、どんな状況なのだろうか？ (ただし、正解があるわけではない。自由に想像してみよう。)	親や祖父母なのか、昔からの友人なのか、子や孫か、別れた恋人か、別の人なのか。歌詩(歌詞)を深く読んで自分なりに考えさせ、理由も答えさせる。
手紙に下書きの跡がある。(C)	やさしい手紙と相手の想いがうれしい。 下書きの跡が胸に沁みる。 自分の為に相手が時間をかけてくれていることに感謝する。	「沢山のあなたの時間をくれた」というのは、どういうことか？ どんな手紙だったのか、想像して書いてみよう。	下書きまでするのは、自分のことを大切に思ってくれているからだとして理解させる。気遣いながら時間をかけて手紙を書いてくれたことに気付かせる。
自分の心を添えて、季節の花を少し送る。 (D)	心から感謝を感じる。 相手の笑顔を思い浮かべると足りないけれど、自分の感謝の心を伝えたい。	季節の花は「少し」送るだけでいいのか？ それはどうしてか？	感謝の心を表現することは、潤いのある人間関係に欠かせない。量ではなく、表現することだと気付かせる。
最後の (A) * (A) が最初と、真ん中と最後に出てくる。		筆者はなぜ「生まれてきてよかった」と思ったのだろうか。何に感謝の気持ちを抱き、どう応えようとしているのか。	皆の温かさに支えられ生きていることの喜びと感謝、それに応えて生きていこうとしていることに気づかせる。

授業を組み立てる—資料の構造から—	ココが押さえどころ！
幸せ＝ぬくもり＝宝物＝思い出＝誕生日 やさしい手紙 … 下書きの跡 // 気にかけてくれる＝あなたの時間をくれる 感謝の心を季節の花で伝える＝感謝の表現 自分は独りじゃない → 勇気が湧いてくる 生まれて来てよかった ＝ 生きている喜び → それに応えて穏やかに善く生きていきたい	この資料は、誕生日に送られてきた手紙をきっかけに、支えられて生きている喜びに気づき、感謝を伝える資料である。筆者の状況をどう捉えるかはいろいろ意見があるだろうが、独居の人間を気に掛け、大切に思ってくれる人がいることは、生きる勇気となる。「生まれてきてよかった」と思わせただけでは何なのか、何に感謝の気持ちを抱き、どう応えようとしているのかを、しっかり押さえさせたい。

準備物	導入 展開 終末	CD 手紙を書くワークシート 写真入りの PowerPoint, 「生まれて来てよかった」と思うときを書くワークシート
-----	----------------	---

指導の展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 誕生日はどのような日か、イメージを交流する。 ・自分が生まれた日。 ・プレゼントをもらって、ケーキを食べる日。 ・1つ歳をとる日。	○生徒の発言は全部温かく受容する。 ○淀川長治さんの言葉を紹介する。 「誕生日は親を思って過ごす日」
展 開	2 配付された資料「BIRTHDAY」の、好きなところや気になるところに線を引きながらCDの歌を聴き、教師の範読を聞く。 ① 手紙（誕生祝い）を贈ってくれたのは、誰だと思 うか。筆者は今、どんな状況なのだろうか。 ・幼なじみから。この人は60歳くらいの男の人か な。奥さんが亡くなって独り暮らし。寂しい。 ・田舎のお母さんから。この人は20代後半の女性。 遠くに離れて住んでる。頑張ってる。 ・娘から。この人は50歳くらいの男性。単身赴任。 ② 「沢山のあなたの時間をくれた」はどういうことか。 ・自分を思って時間をかけて手紙を書いてくれた。 ③ どんな手紙だったのか、想像して書いてみよう。 ・お誕生日おめでとう。元気にやっていますか。 ・中学の頃の写真を見つけたので送ります…。 ④ 筆者は何に感謝しようと思っ ているのか。なぜ「生まれてきてよかった」と思ったのか。 ・自分の誕生日を憶えてくれていて、うれしい。 ・独りじゃないとわかって、元気が出たから。 ・みんなの優しさへの感謝。 ・つらいこともあるけど、ちゃんと生きていこう。	○さだまさしさんの歌を聴かせると、 テレビ番組で聞いて知っている生 徒がいるかもしれない。まず、歌と して捉えさせ、次に詩として味わわ せる。 ○何度も読んで、詩の世界に入り込ま せる。いろいろな意見が出てよい。 ○相手を傷つけないよう気遣うため 文章を考え、下書きをしていること に気付かせる。 ○筆者の状況を想像しながら書かせ る。誰からもらった手紙なのか、年 齢をどう考えるか等でいろいろ考 えられるが、相手を大切に思って手 紙を書くということを体験して想 いを深く理解させる。 ○何に感謝しているかという発問は、 道徳的価値そのものに迫ることにな る。出にくければ『「生まれてき てよかった』と思ったのはなぜか。』 とすると「～だから」と答えやすい。
終 末	3 もう一度、歌を聴く。現在の自分がいろんな人に支え られていることにさりげなく気づかせる工夫をする。 4 自分が「生まれてきてよかった」「生きていてよかつ た」「幸せだ」と思うのはどんなときか考えて書く。	○PowerPointなどで、行事やクラブ、 お弁当・給食、中庭の花など、学校 生活の写真を映しながら曲を流す。 ○発達段階に合わせて、自然に自分を 振り返り、価値を内面化させる。

<p>○「生まれてきてよかった」「幸 せだなあ」と思ったことがあ る？どんなとき？</p> <p>○「生まれてきてよかった」と なぜ思ったのか？</p> <p>何に感謝し、どう応えようと思 っているのか？</p> <p>○「生まれてきてよかった」「幸 せだなあ」と思ったことがあ る？どんなとき？</p>	<p>○誰からの手紙？</p> <p>筆者は今どんな生活？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼なじみから。寂しい。 ・田舎のお母さんから。 ・娘から。単身赴任。 ・もと恋人から。 <p>○どんな手紙だった？</p>	<p>BIRTHDAY</p> <p>○誕生日はどのような日？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が生まれた日 ・プレゼントをもらう日 ・一つ年齢が増える日 	<p>板書例</p>
--	---	--	------------

授業を広げるアイデア

導入の工夫

- 「おへその穴」という絵本の朗読や、YouTubeなどと組み合わせる。
- 中学生なら、誕生日は、お祝いしてもらおう日だと捉えていて普通である。
全部受け入れた上で、「誕生日に一番大変な想いをしたのは誰だと思う？」と切り返し、考えを拡げさせる。生まれてこようとした自分も大変だっただろうし、産んでくれた母親も命がけであったことに想いが及ぶとよい。
- 326の「誕生日」の詩とイラストを紹介するのもよい。
- 誕生日に関するいろんな曲があることをまず紹介する。どれを知ってる？→今日はこれを。

展開の工夫

- 誰からの手紙か、筆者がどういう状況か考えさせるときに、「わからない。」と言ったら…
「正解があるわけではないので、自由に想像してください。」ということをきちんと伝える。
そこがうまく進められると、どんな手紙だったか自由に想像させることにものってくる。下書きまでする状況はどうだったのか。
- ・奥様が亡くなって一年ですね。さぞかしお寂しいことでしょう。ちゃんにご飯を食べて寝ていますか。心配しています。昔の写真を見つけたので一緒に送ります。…
- 季節の花は「少し」送るだけでいいのか？なぜ？**
その理由を考えさせることで、自分を思ってくれる人のやさしさに気付いたときに、相手に対して十分なことはできなくても、何かそれに対する感謝の気持ちを表現するのが大切である…ということにも気づかせたい。

終末の工夫

- さだまさしさんの「MOTTAINAI」を聴かせ、(できれば PowerPointなどで、毎日当たり前のように思っている生活の画像と組み合わせ、) 時や、人との関係、学校生活、生き方などでも、毎日をきちんと生きなければ MOTTAINAI ということに、さらに気付かせ、感謝の気持ちを育む。
- さだまさしさんの「いのちの理由」を聴かせ、自分が生まれて来たことの意味、理由を考えさせて、しあわせに気付かせ、感謝の気持ちを育む。

事前・事後の工夫、関連事項

- ご懐妊しておられる先生、産後の先生がおられたら、特別活動の集会等で話をさせていただく。
- 道徳通信や学校ホームページなどで、保護者や地域と連携し、取り組み内容を知らせたり、保護者の想いを出してもらったりして、深める。
- AET(外国人英語助手)や、読書支援員、事務、校務員さん、購買、給食配膳員さんなど、学校のいろんなお仕事をして支えて下さっている方々のコメントを紹介する。
- 小学校の『心のノート』の「ありがとうをさがそう」を見直すのもよい。

ちょっといい話 この歌に関する芸能界のエピソードをいくつか紹介しましょう。(*^_^*)

- ★淀川長治さんは、さださんに「…だから、今はお母さんを一日想って過ごすんですよ」という話をされたそうで、永六輔さんの著書にもその話が出てくる。
- ★歌手の和田アキ子さんが、自宅でこの番組をご覧になっていて、さださんの携帯に泣きながら電話をし「おまえ、いい曲作るな。」とひとこと言って切った。
- ★ちなみに、和田アキ子さんも、淀川長治さんも、永六輔さんも、さだまさしさんも、誕生日が同じで、4月10日生まれである。